

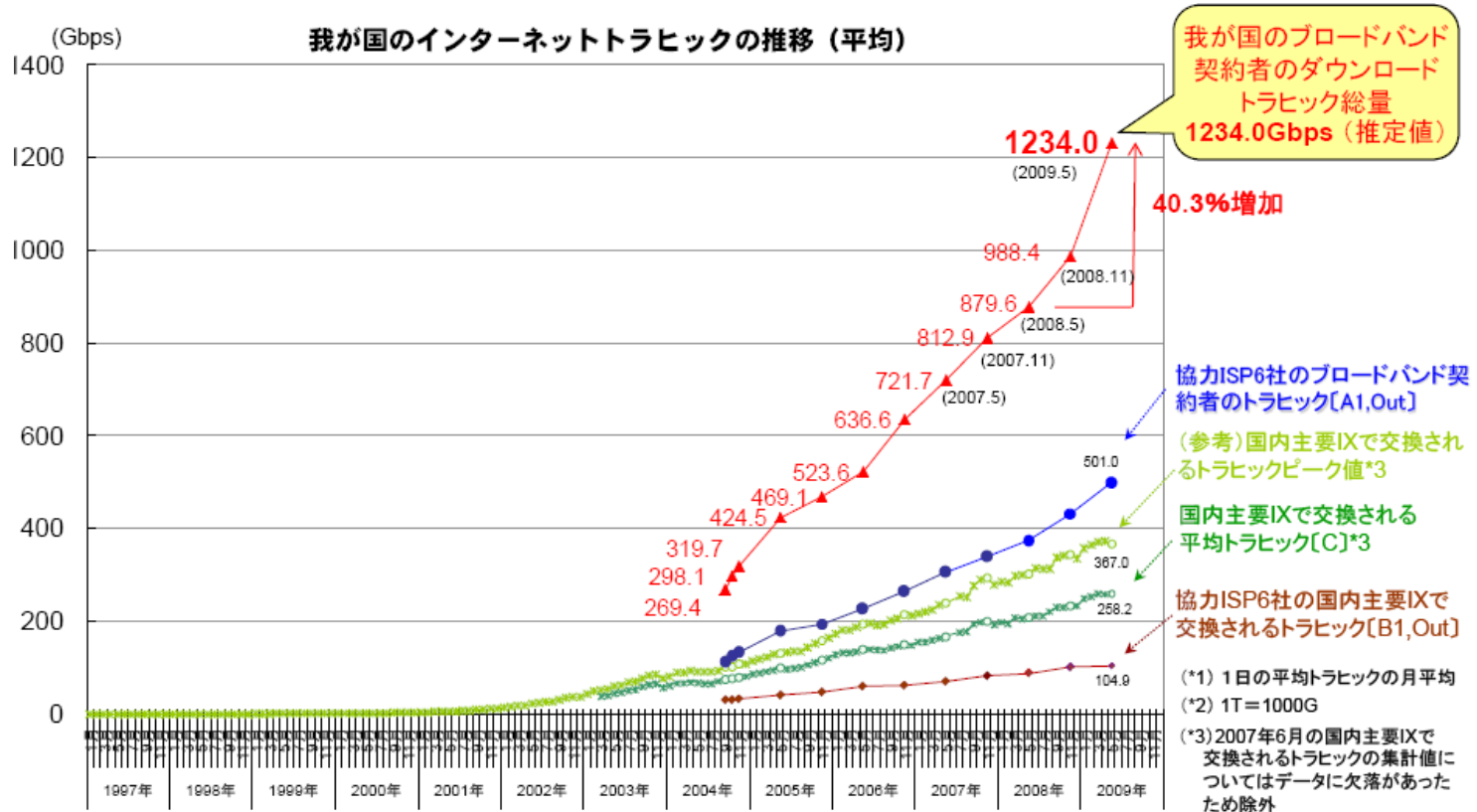
700/900MHz帯移動通信システムの基本コンセプトについて

2010年2月19日(金)

KDDI株式会社

PCインターネットトラフィック動向

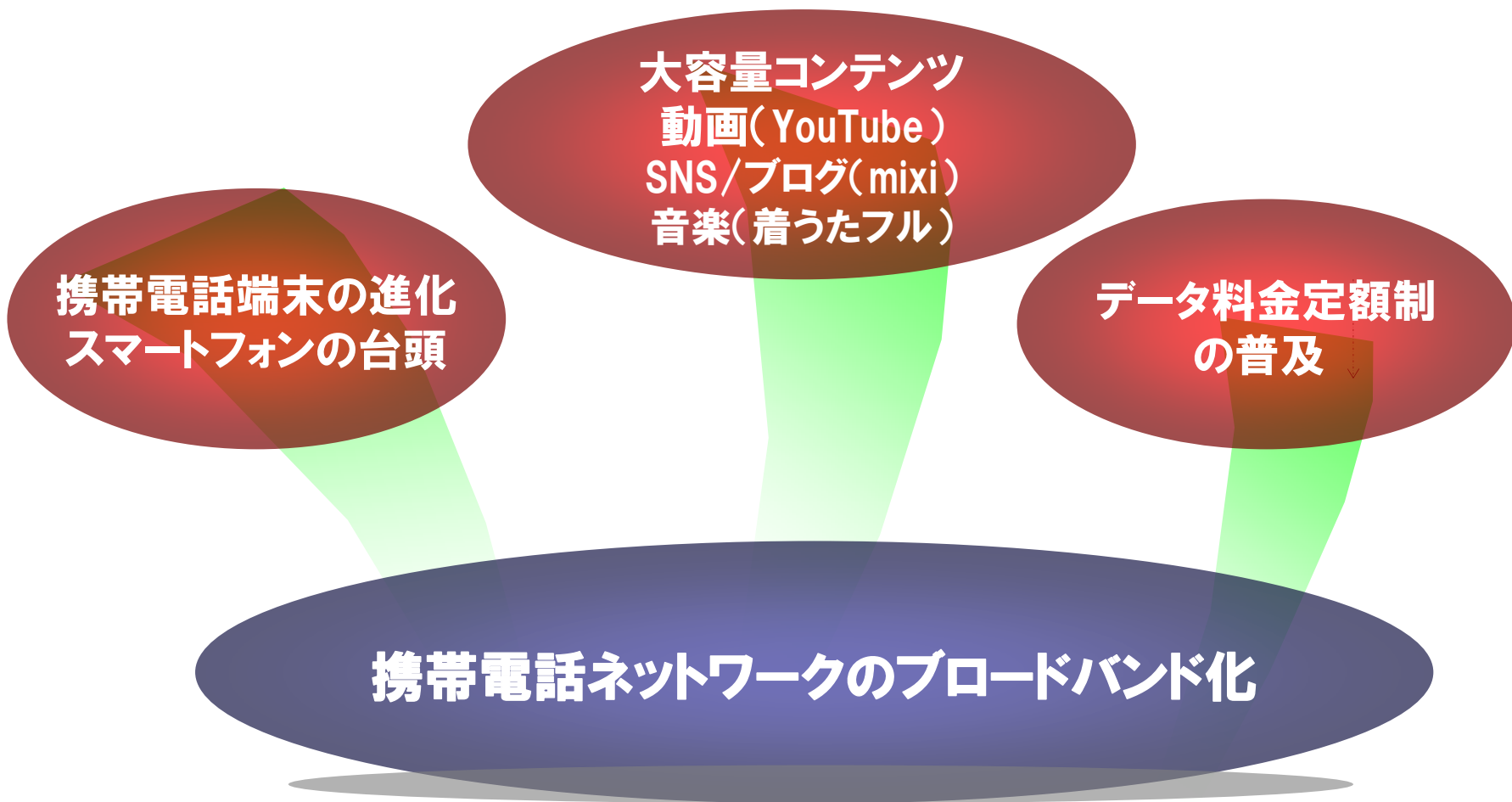
ブロードバンド環境の普及に伴い、 PCインターネットにおけるトラフィックは急増の一途



※出典: 総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィック総量の把握」(H21.8.6)

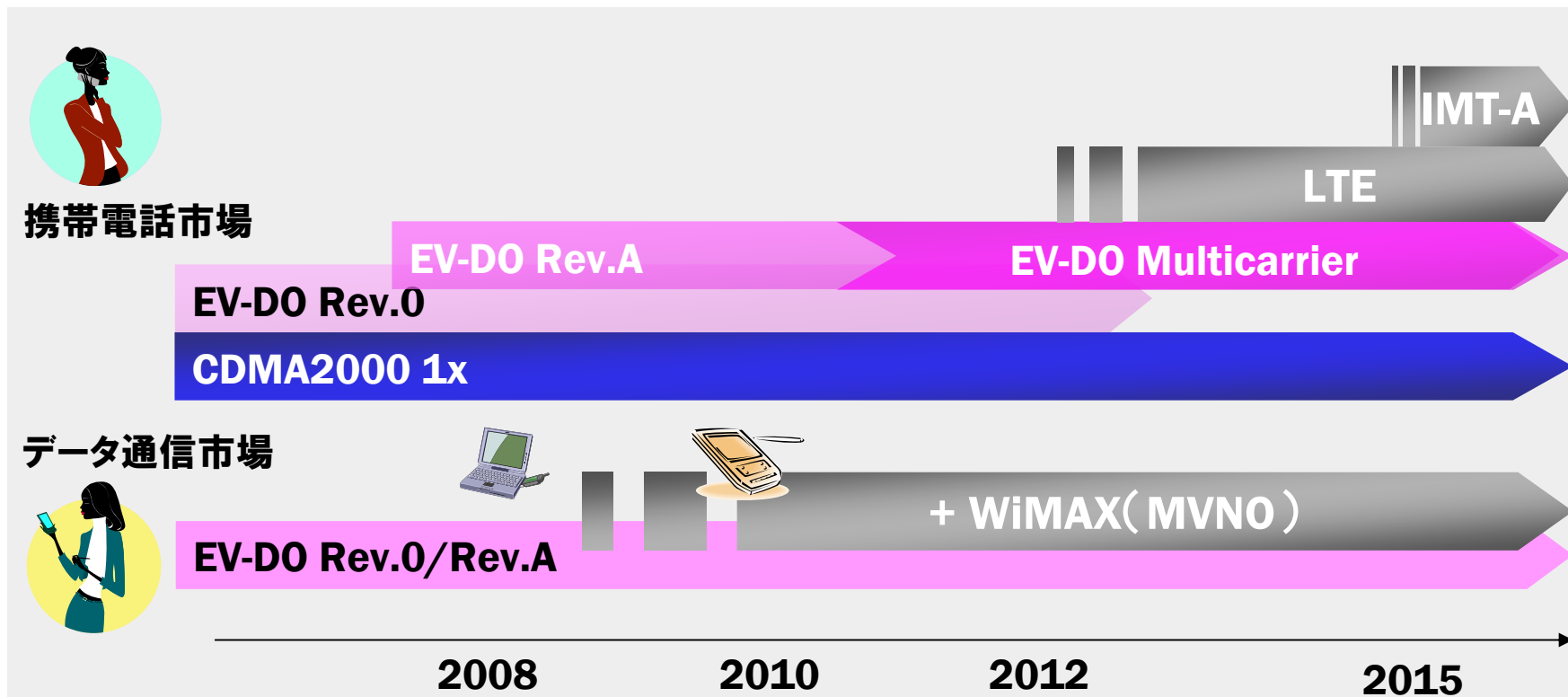
携帯電話市場の動向

PCインターネットのアプリケーションが携帯環境にシフト 携帯電話とPCとの融合化が進展

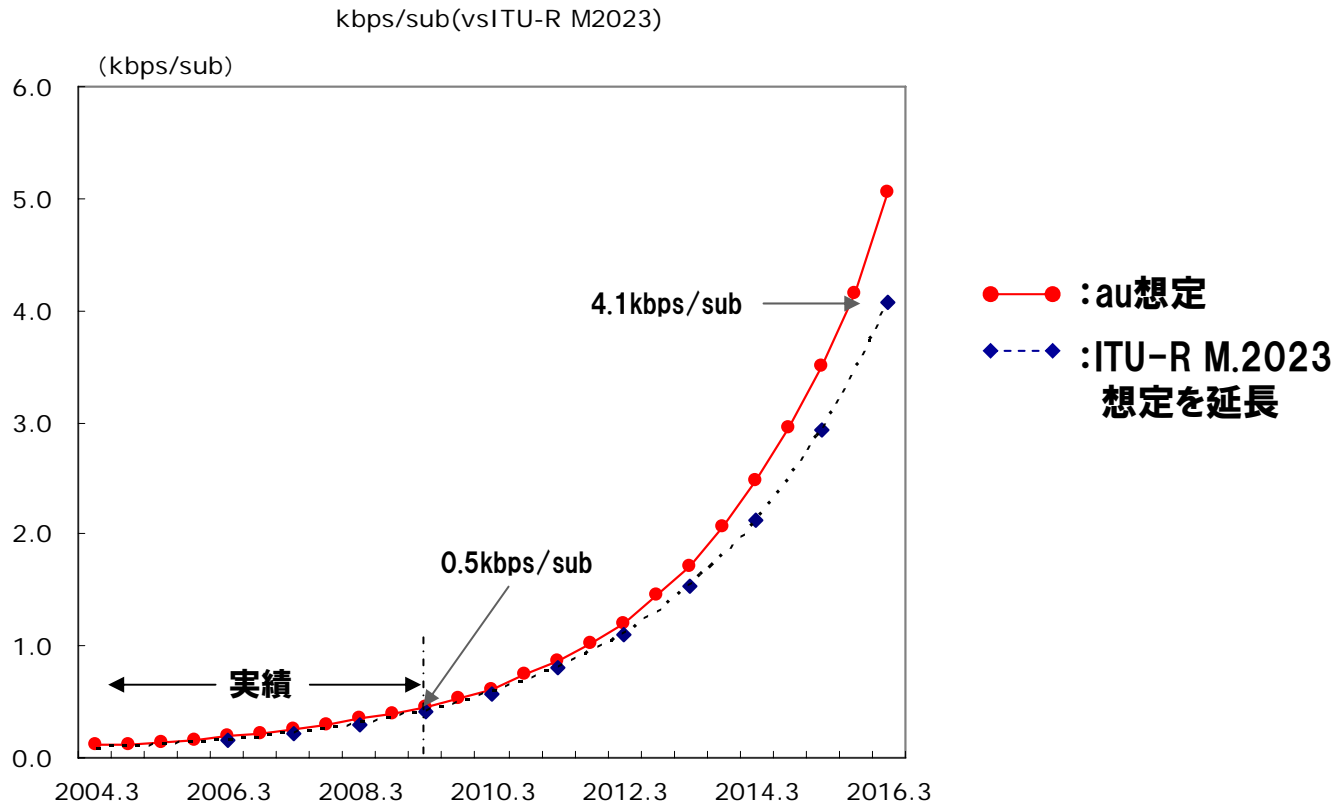


3.9世代システムの位置づけ

当社はLTEをケータイでの利用(スマートフォン、フィーチャーフォン等)に位置づけ、主に増大する携帯電話トラフィックの効果的収容を図る。
(WiMAXはデータ通信市場(PC等内蔵型)を主とした位置づけ)



携帯電話トラフィック予測



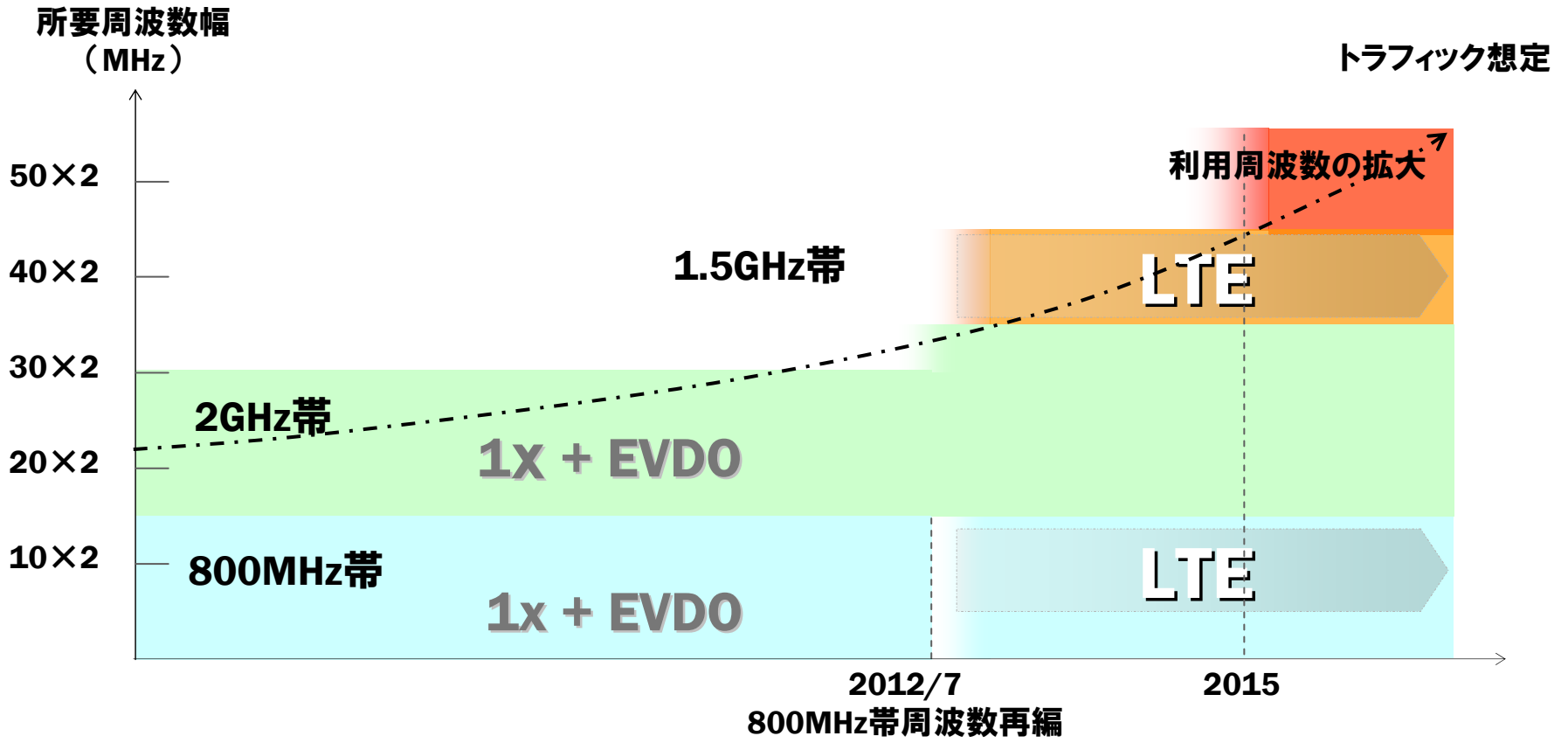
出典: 当社想定

携帯電話トラフィックトレンドは、
 3.9世代システムの導入によりブロードバンド化が進み、
 「ITU-RレポートM.2023」想定以上に伸張する可能性を秘める

必要周波数帯域と今後の展望

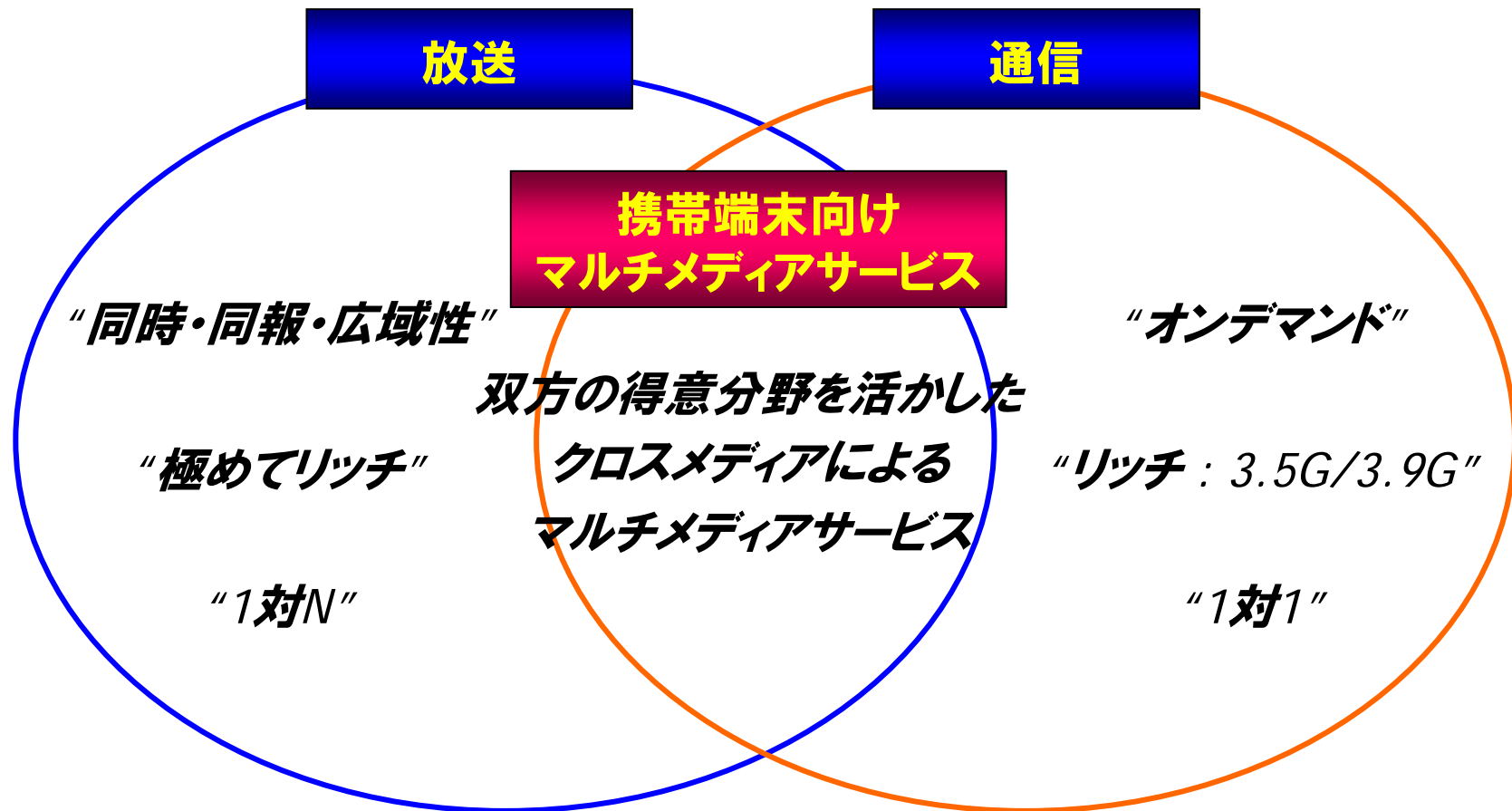
3.9世代システムを投入し、携帯データ・イノベーションを喚起すると、2015年以降には当社保有の45MHz×2を使い切る

2015年以降の増分トラフィックを収容する為の新周波数帯が必要



周波数有効利用

増分トラフィックを収容する為に今後も膨大な周波数帯域が必要
同時・同報性を持つ携帯端末向けマルチメディアサービスにも期待



導入方式と周波数等

- 2015年までに新規割当が予定されているのは、700/900MHz帯であることから、トラフィック需要の対策にはこれを活用することとしたい。
- 導入する方式は、国際協調性、設備投資効率、標準化動向（キャリア・アグリゲーション）等の観点から、既存の800MHz帯、1.5GHz帯と同様に、LTE方式10MHz幅（FDD）以上を想定しております。
- グローバルなユーザー利便性の増進に資する電波利用環境の整備への配慮や端末流動性への配慮が重要と考えています。